

## 各都道府県の特徴ある道徳教育の取組状況

### 【北海道】

北海道教育委員会では、本道の道徳教育の一層の向上を図ることを目的とした「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」を実施している。

- 北海道版道徳教材「北海道おもてなしハンドブック」を作成し、道内の公立小・中学校、特別支援学校小学部・中学部の全ての児童生徒に配布した。
- 子どもたちの豊かな心をはぐくむ、5つの「北海道道徳教育webプログラム」を作成した。  
(ホームページに掲載)
  - ①おもてなし「ホスピタリティ教育プログラム」
  - ②学習規律・生活規律プログラム
  - ③ふるさと「ふるさと教育プログラム」
  - ④生命尊重教育プログラム
  - ⑤学社協働教育プログラム

### 【岩 手】

#### 1 平成30年度版

「岩手県道徳教育郷土教材集 ふるさと いわたの心」編集発刊

平成30年度からの教科書化に伴い、郷土資料が掲載されなくなったことから、本研究会では、これまでの郷土資料から低・中・高学年に各7教材を編集した教材集を今年度末をめどに県内各学校に販売する。

ぜひ、他県の皆様も購入していただければと思います。

### 【宮 城】

本県では8つの地区で構成されており、各地区の組織や運営方針に基づいて道徳教育の推進に取り組んでいる。県全体としては、年1回、各地区を輪番として研究大会を開催し、県の研究テーマに即して授業研究、実践発表、基調講演などを内容として研修を深めている。また、各地区において、道徳の教科化に向けた授業実践などの取り組み状況を会員相互で確認し、意見交換を行っている。

### 【秋 田】

「特別の教科 道徳（道徳科）」が完全実施となる来年度、本県で全国小学校道徳教育研究大会を開催します。発達の段階に応じ、道徳的な課題を一人一人の子どもが自分自身の問題として捉え、向き合う「考える道徳」「議論する道徳」への質的転換を図ることをねらいとして「豊かなかかわりの中で、自分を見つめ、よりよく生きようとする児童生徒の育成～思いを語り合い、考えを深める道徳科の実践～」という主題のもと研究を推進しています。

## [栃 木]

栃木県では、県内9支部の持ち回りで「道徳教育研究大会」を2年に1回秋に開催しています。平成31年11月22日（金）には「関東地区小学校道徳教育研究大会」を那須塩原市の埼玉小学校で開催しますので、現在、大会に向けての準備を進めています。

その他、年数回各支部長が集まる会議を設定し、各支部の特色ある取組についての情報交換等を行っています。

## [埼 玉]

「道徳授業夏季研修会」及び「道徳授業指定研修会」の実施

「道徳授業夏季研修会」は、彩の国道徳教材の中から教材を選定し教材吟味と指導案づくりを小学校の低学年部会、中学年部会、高学年部会、中学校2部会、基礎部会に希望で別れ研修します。また、文科省や大学の先生方を講師に講演をいただき1日の研修を実施するものです。例年8月の第2金曜日に実施しています。

「道徳授業指定研修会」は、埼玉県を東西南北の教育事務所ごとのローテーションで午後に研究授業や講演会による研修を実施しています。毎年全国大会や関東大会と重ならないように11月の金曜日に実施しています。29年度は、小中の連携を柱に中学校が小学校へ生徒も教師も移動し越谷（東部）で実施いたします。

## [東 京]

東京都教育委員会の事業「特別の教科 道徳」授業力向上セミナーにも都小道研として協力させていただいております。また、「考える道徳」（仮）保護者向け教材の制作に係る検討会にも協力させていただいております。

## [石 川]

石川県学校道徳研究会では、各教育事務所管内で公開授業研究会を毎年開催し、研究授業と授業整理会、指導主事を招聘しての指導講話等により、教師の授業力を向上させる取組を実施している。教師と子ども達が人間としてのより良い生き方を求め、共に考え、話し合う授業を目指したいと考えている。また、本県では、子ども達の郷土を愛する心や生命尊重などの道徳性を育むため、石川県教育委員会が作成・配布した「ふるさとが育む道徳いしかわ」の活用等による道徳の授業の充実や保護者・地域との連携の推進に向けての取組がなされて成果を上げている。

## [福 井]

「自己を見つめ、思いやりの心や感動する心を持ち、ともによりよく生きようとする子どもの育成」を研究主題として、県内7ブロックに分かれ、ブロック毎に研究集会や、研修会、授業研究会を実施して、研鑽を積んでいる。

また、夏季休業中には、研修会を実施し、県内2ブロックの代表が研究発表を行い、研究協議を通して、実践を広め合っている。

## 〔山 梨〕

山梨県では、「やまなし道徳教育推進事業」として、次のような取組を行っている。

### (1) 「特別の教科 道徳」実施に向けた授業づくり研修会

県下全小中学校の道徳教育推進教師等を対象とした悉皆研修会で、年間2回の全体研修会と研究推進校における授業研究会を実施している。

### (2) 道徳教育研究推進校の指定

「特別の教科 道徳」の趣旨を踏まえた授業づくりに関する研究を行う研究推進校を設置し、その成果を公開することで「特別の教科 道徳」の実施についての周知と授業改善に資する。

### (3) 道徳教育推進協議会

有識者等、幅広い層からなる委員会を組織し、本県の道徳教育に関する課題や改善策について協議し、その成果を啓発誌「つばさ」にまとめて提案する。

### (4) 道徳教育推進運動

県下全ての小中学校において、ふるさとを愛し、ふるさとを誇れる山梨の子どもたちを育てるために、その基盤となる豊かな心を育成する取組を進める。

## 〔岐 阜〕

研究主題「自他ともによりよい生き方をもとめ、実践する児童・生徒を育てる道徳教育はどうあるべきか」のもと、道徳の時間を核にして、研究を継続しています。8月には夏季ゼミナールを開催し、県教育委員会から道徳科にかかわる動向や県の重点にかかわってご指導をいただくとともに自主的に夏季ゼミナールのあり方を工夫して取り組んでいます。具体的には、教師の興味・関心、立場に応じた道徳科のワークショップ（「道徳科にむけて」「小学校基本講座」「中学校基本講座」）や小中学校の実践発表と協議で研究を深めています。特に、道徳科になるまでの取組として、道徳の特質を大切にしながら、改定に示された新たなキーワードに関わって工夫する実践を積み上げていきます。

## 〔静 岡〕

静岡県では、年一回研究大会を設定し、各地区での実践を持ち寄り、全小中学校での道徳の推進について、分科会を設け、研究成果の発表や協議を通して、道徳部報を発行し全小中学校に配布し「特別の教科 道徳」への移行期の準備を進めています。

本年度は、特に各地区で、静岡県が目指す「新学習指導要領の具現化」への研究主題を協議、示すことにより、実践的な授業研究会が開催され、県全体会では、道徳科の特質を生かした授業の質的改善についての講演を取り入れて、全面実施に向けた指導の改善を図っています。

## [愛 知]

小・中学校合同で「愛知県道德教育研究会」を組織し、名古屋・尾張・三河の三地区で研究推進をすすめるとともに、順番に年1回「愛知県道德教育研究大会」を開催している。

本年度は、11月8日（水）に岡崎市立竜美丘小学校を会場にして、「豊かな心をもち、21世紀をたくましく生き抜く子どもの育成—道德科の授業を中核とした教育課程を通して—」というテーマで愛知県道德教育研究大会を開催した。

分科会では、低学年、中学年、高学年、中学校と4つの部会に分かれて、各地区から提案が行われた。次に、竜美丘小学校全29学級（含特別支援学級）の授業公開がされた。子どもの意識を大切にしたい発問をもとに、活発な話し合いが展開されたり、授業者の切り返し・発問のタイミングや構造的な板書の工夫が見られたりした。また、授業者と語る会においても活発な意見交換が行われた。最後に、岐阜大学大学院准教授柳沼良太先生を講師にお迎えし、「豊かな心で考え議論する道德授業の在り方」という演題でご講演いただいた。授業の組み立て方や評価の在り方等についてのご示唆があり、教科化に向けて、貴重な学びの場となった。

## [三 重]

三重県では、道德教育総合支援事業実践推進校である桑名市立星見ヶ丘小学校が、校内研修会である授業提案及び外部講師による模擬授業を公開授業研究会として県内小中学校教員及び県・市町教委指導主事を対象に、道德科実施に向けた研修の機会や場として提供している

また、県では、年2回、県・市町等指導主事及び実践推進校の校長・教員を対象に、道德教育推進会議を開催し、道德科を要とした道德教育の実践交流及び講師を招いての研修会を実施している。さらに、県から委嘱された委員によって構成された道德教育推進委員会を年2回開催し、県の道德教育推進に向けた研究を行っている。

## [滋 賀]

大きな変化は「無し」

例年の取組

3年間を一区切りとした継続研究に取り組んでいる。今年度は新しい研究主題「自分への思いを深める『特別の教科 道德』の在り方」～話し合いの充実を通して～のもと、研究を推進する。

8月9日に夏季研究大会を開催し、県下を小・中学校各5ブロックに分け、小・中各5分科会（計10分科会）で、研究主題に基づいた各ブロックでの取組を検討している。各ブロックではブロック大会を開催し、授業研究会を通して実践研究に取り組んでいる。

12月をめどに各ブロックでの取組をまとめ、研究集録とし、2月に研究会を開催し今年度のまとめとする予定である。

## [京 都]

京都市小学校道德教育研究会では、毎年、総合育成支援・低学年・中学年・高学年の各部会に分かれて、研究主題「よりよく生きる子の育成を目指した“しなやかな道德教育”』～自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して～に迫る授業研究に取り組んでいる。

その研究成果は、全市の教職員対象とした「道德の時間を楽しく勉強しようの会」（年間4回開催）で実践報告したり、毎年2月に行われる京都市小学校道德教育研究大会で公開授業として提案したりしている。

また、若年教員の授業力向上や京都市の道德の時間の充実に向けて、若年教員を対象にした新人教員勉強会（京都市教育委員会の支援を受けた若手・中堅教員実践道場、年間3回）にも取り組んでいる。

さらに、夏季休業中には、道德教育夏季研修会を開催し、道德の時間の魅力や授業づくりなどの取組を全市の先生方に発信している。また、中学校との連携として、中学校道德教育研究会と共催で行う夏季の京都市道德教育研究大会で実践発表したり、模擬授業（中学校道德教育研究会と隔年で実施）を行ったりすることで、互いの実践をわかりやすく伝え合うようにしている。

## [大 阪]

府小道研は、秋の研究発表大会、冬の研究協議大会を実施している。

それぞれの大会の特色を出し、秋の研究発表大会では研究授業・分科会、指導講評・記念講演とし、冬の研究協議大会では、研究授業と府内6地区の研究発表としている。

このような研究発表会、研究協議大会において道德科の特質を今まで以上にしっかりと踏まえた上で、多様な指導方法に関する実践や研究を深め、その成果を共有している。

また会報（年1回）を作成し、府内全地区の研究成果をまとめ、より一層の共有化も図っている。

## [奈 良]

小・中学校合同で奈良県道德教育研究協議会を組織し、「豊かな人間性を培い、よりよく生きる力を育てる道德教育」を主題として、教科化に向けて研究を進めている。

小学校低学年部会・高学年部会、中学校部会で、「奈良県道德教育授業研究会」を県教育委員会と共催で取り組んでいる。その成果や課題は、奈良県小・中学校道德教育研究大会での報告や研究集録「奈良県の道德」にまとめ、県内の小・中学校での取り組みへと広げている。

また、県教育委員会・奈良県道德教育研究協議会・県道德教育振興会議の共催で、教員や保護者を対象に「奈良県道德教育フォーラム」を実施している。本年度は、「郷土奈良で育む子どもの心～道德の授業を要とした道德教育の推進～」というテーマでパネルディスカッションを行った。

## [鳥 取]

鳥取県では、「広い心とたくましさを持ち 未来を切り拓く児童を育てる道徳教育」を研究主題として、自己の在り方や生き方を見つめ、自己を高めていく子どもの育成をめざしている。

本年度は、夏季休業中に鳥取県小学校道徳教育研究大会を開催し、「これからの道徳教育 ～道徳の教科化に向けて～」というテーマで西野真由美先生（国立教育政策研究所）にご講演をいただいた。また夏季中央研修講座に参加した3名の教諭から研修報告を受けた。

なお鳥取県は、平成31年11月22日に中国地区小学校道徳教育研究大会（鳥取県大会を兼ねる）を境港市立上道小学校を会場に開催する予定である。

## [鳥 根]

鳥根県では「夏期研修会」として全小道夏期研修会派遣者からの報告と文科省教科調査官や大学教授等を講師とした講演を行っています。また、年度末には会報を発行し、全県に情報提供をしています。今年度は道徳ノート（鳥根県版）の作成に向けて編集委員会を発足しました。

## [岡 山]

岡山県教育委員会・岡山市教育委員会と連携して、教材、指導案、CD（挿絵・ワークシート）等が入った「岡山県道徳郷土資料集」を作成し、全県の学級担任に配布した。岡山県小学校道徳教育夏季研修会において、その資料集から低・中・高の計3本を模擬授業形式で提案したところ、参加体験型の模擬授業になり、新しい授業づくりに向けてとても好評であった。

## [広 島]

### 【研究組織】

広島県小学校教育研究会 道徳部会

### 【研究推進】

研究主題を「心をひらき ともに生きる 道徳教育」とし、県内を17の市や郡に分けて、その市や郡の実情に合った副主題を設定し、研究を推進している。なお、研究主題については、来年度から変更する予定である。

研究推進の手立てとして、県内を6のブロックに分け、毎年10月に広島県小学校道徳教育研究大会を開催し、県内の全小学校に案内すると共に参加をよびかけている。本年度は10月13日に、福山市において第31回研究大会を盛会裏に実施することができた。

道徳部会の運営のために、6月と2月に市や郡の理事や代表者を集めて理事会を開催し、研究大会の実施に向けての確認や情報交換等を行っている。

## [山 口]

山口県は、第53回全国小学校道徳教育研究大会、第18回中国地区小学校道徳研究大会を平成29年11月9日（木）・10日（金）に周南市で開催しました。研究主題「豊かな心を持ち、人としてよりよく生きる子どもを育てる道徳教育～自己を見つめ、自己の生き方についての考えを深める道徳科学習～」を掲げ研究の成果を全国に発信しました。

## 〔徳 島〕

徳島県小学校道徳教育研究会では、夏季休業日中に県中学校道徳教育研究会との連携のもと、毎年「徳島県小中学校連合道徳教育研修会」を実施しており、本年度で第51回を迎えることができた。

本年度は、元大阪府河内長野市立西中学校指導教諭 永吉洋子氏を講師に招き、テーマ「資料の見方と指導の構想」のもと、互いの経験や考えを交えながら研修を深めることができた。また、道徳の教科化に向けての情報交換も行うことができた。

## 〔香 川〕

昨年度までの研究を踏まえ、平成30年度からの教科化を見据えて、次の3点について研究を進めている。1 道徳授業の質の転換 2 学校教育活動全体で取り組む道徳教育の改善と工夫―道徳授業を核とした総合単元的道徳学習の充実― 3 道徳科の評価の在り方―子どもを見取り、よさを伸ばす道徳ノートの工夫― これらの点について研究・実践を積み重ね、来年度の四国小・中学校道徳教育研究大会を迎えたいと考えている。

## 〔高 知〕

高知県教育委員会では、平成28・29年度の2年間「道徳科研究指定校事業」を設け、県内の小・中学校9校を指定し、新学習指導要領の趣旨を生かした道徳科の指導と評価の在り方について研究を進めています。

## 〔福 岡〕

本県は、地区を8つに分けています。その中で、県の研究主題「豊かな心をはぐくむ道徳教育の創造」を受け、6地区で研究大会（2地区2カ所が合同・2地区が2年に1回）を開催しています。県研究大会を毎年開催し、前記6地区の研究大会と兼ねて実施しています。

例年、研究部が文科省配布「わたしたちの道徳」の活用実践例を作成していますが、本年度は、「特別の教科 道徳」への移行を見据えた、授業実践事例集を作成し、会員への配布を予定しています。

## 〔佐 賀〕

佐賀県では以前より「ふれあい道徳」と称して県内の全小・中・義務教育学校において、年に1回、保護者や地域の方々等に道徳の時間を広く公開するなどして、道徳教育の充実を図っています。

## [長 崎]

1 長崎県では、「心豊かな長崎っ子」の育成を目指し、命を大切に作る心や思いやりの心の育成、あこがれや将来への志の育成、あいさつやマナーの向上などを目的として、平成16年度から「長崎っ子の心を見つめる教育週間」を実施している。

すべての学校で次のような内容や方法に取り組んでいる。

- 教育活動を公開し、教師、保護者、地域住民が共に子どもの心を見つめる場を設定する。
- 公立小中学校では、すべての学級の道徳の授業を、県立学校では、心の教育にかかわる教育活動を公開する。
- 児童・生徒が主体となって継続したあいさつ運動や授業時の元気のよい返事、また規範意識の高揚やマナーの向上を図る取組を行う。
- 学校支援会議やPTA等と協力して、企画立案及び運営を行う。
- 警察等の関係機関と協力し、学校公開に伴う安全対策に努める。

2 長崎県教育委員会は、道徳教育推進に関するリーフレットを県下の全教員に配付し、「心豊かな長崎っ子」の育成を図っている。小中12年間を通して重点的に指導する内容は、「規範意識」「生命尊重」「礼儀と思いやり」である。

県の施策を受け、長崎県道徳教育研究会においては、研究主題を「豊かなかかわりを通して自らを見つめよりよい生き方を問い続ける子どもの育成」として、平成26年度から平成29年までの4年間、継続して研究に取り組み、毎年研究大会（7地区輪番制）を開催してきた。また、県内の道徳教育に意欲が高く、有望な教員を募り、長崎県道徳教育研究会の中に「研究班」を組織し、基礎研究や授業実践研究に取り組み、県下に発信すると共に、研究大会の中心的役割を担っている。

## [鹿児島]

1 道徳教育支援事業を推進し、道徳の時間の指導方法改善や「私たちの道徳」「不屈の心（郷土資料集）」等の教材活用を行うとともに、授業研究会や協議会等を実施し、道徳教育に関する教職員の資質向上及び県民の理解と意識の向上を図っている。

- (1) 心の教育振興会議による指導事例等の提言
- (2) 教育事務所毎の地区道徳教育研修会の開催
- (3) 道徳教育パワーアップ研究協議会、道徳教育フォーラムの開催

2 鹿児島県小学校教育研究会道徳部会の取組

- (1) 鹿児島県小学校道徳教育研究大会、夏季研修会の毎年開催
- (2) 研究誌「道徳の教育」、道徳ノートの発行